

## 第二期 藤井寺市保健事業実施計画(データヘルス計画)

平成 30 年度～平成 35 年度



「日本再興戦略」(平成 25 年 6 月 14 日閣議決定)において、すべての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされました。

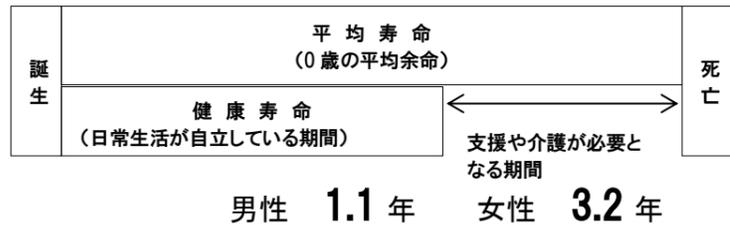
これを受けて、藤井寺市では平成 26 年度に「第一期藤井寺市保健事業実施計画(データヘルス計画)」を策定し、保健事業を展開してきましたが、平成 29 年度で計画期間が終了することから、計画の評価と見直しを行い、「第二期藤井寺市保健事業実施計画(データヘルス計画)」を策定しました。

### 計画の構成(本編)

- |               |                                 |
|---------------|---------------------------------|
| 第 1 章 計画策定の概要 | 第 6 章 計画の目的                     |
| 第 2 章 藤井寺市の現状 | 第 7 章 健康・医療情報等の分析に基づく健康課題の抽出と目標 |
| 第 3 章 保険者の特性  | 第 8 章 個別の保健事業の実施計画              |
| 第 4 章 前計画の評価  | 第 9 章 計画の公表・推進に関する事項            |
| 第 5 章 前計画の考察  |                                 |

～ ここでは、計画(本編)の内容を抜粋して掲載しています ～

### 藤井寺市の健康寿命と平均寿命の差は?

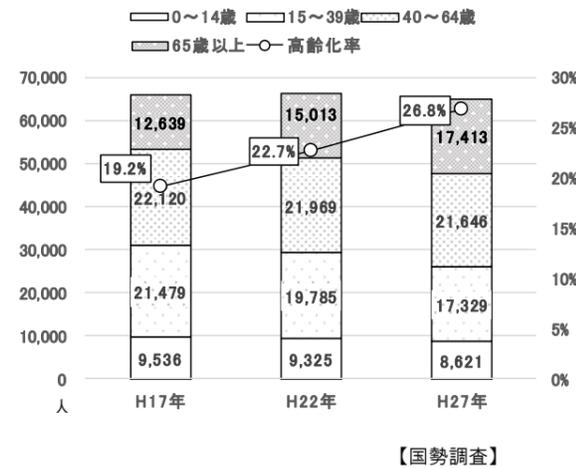


【平均寿命:厚生労働省 HP、健康寿命:藤井寺市、大阪府は大阪府保健医療室健康づくり課から提供、全国は厚生労働科学研究 HP「健康寿命のページ」(H22 年度)】

### 目的

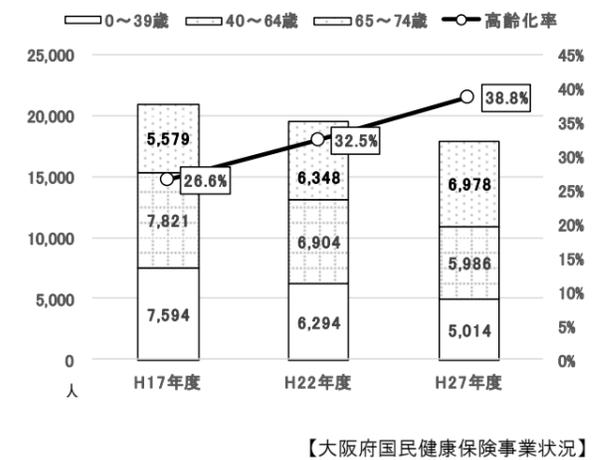
- ☆ QOL(生活の質)の向上
- ☆ 健康寿命の延伸
- ☆ 医療費の適正化

### 人口と高齢化率の推移



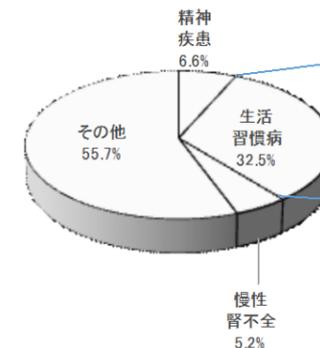
高齢化率は年々上昇しています。

### 被保険者数と高齢化率の推移

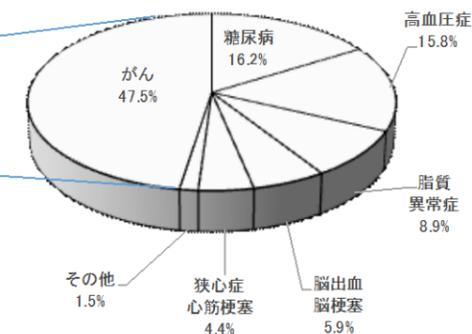


高齢化率は年々上昇し、被保険者の 4 割近くが 65 歳～74 歳となっています。

### 【大分類】



### 【生活習慣病の内訳】



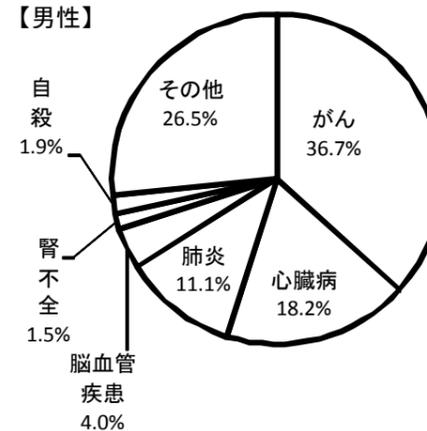
全医療費に占める生活習慣病の割合は 3 割以上で、

- 内訳は
- 1 位 がん
  - 2 位 糖尿病
  - 3 位 高血圧症

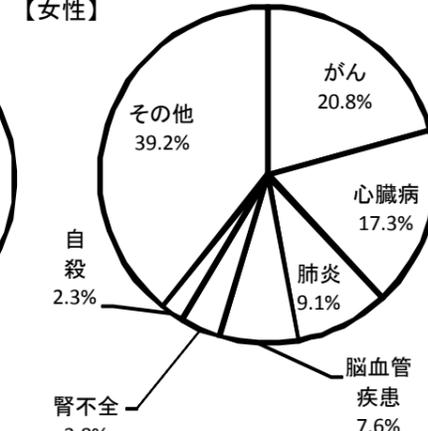
高血圧性疾患は 40 歳以降、外来のレセプト件数が全国・大阪府に比べて多い状況です。(被保険者千人当たり)

【国保データベースシステム(H28 年度)】

### 【男性】



### 【女性】

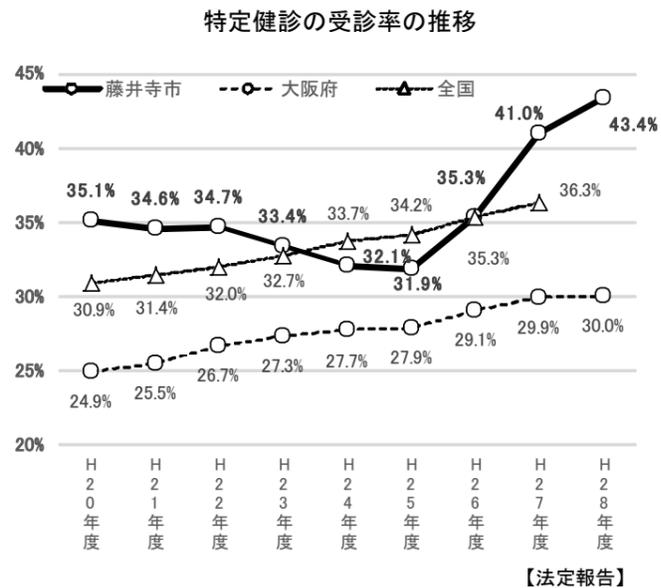


死因別死亡割合では男女とも第 2 位心臓病、第 4 位脳血管疾患、標準化死亡比では男性は心臓病が年々上昇しています。

狭心症や心筋梗塞などの虚血性疾患、脳卒中とともに 40 歳代の入院のレセプト件数が全国や大阪府に比べて多い状況です。(被保険者千人当たり)

人工透析の新規患者数の 2 人に 1 人は糖尿病患者です。

【人口動態統計(H27 年度)】

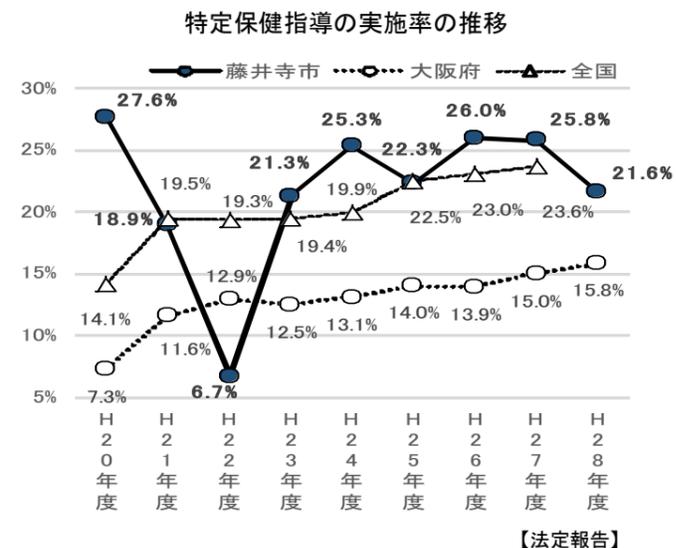


特定健康診査の受診率は、平成26年度以降、上昇しているものの国の目標値60%には達していません。

HbA1cが8.0%以上(6.5%以上で糖尿病型)の半数以上が、初めて特定健康診査を受診して糖尿病を指摘されています。

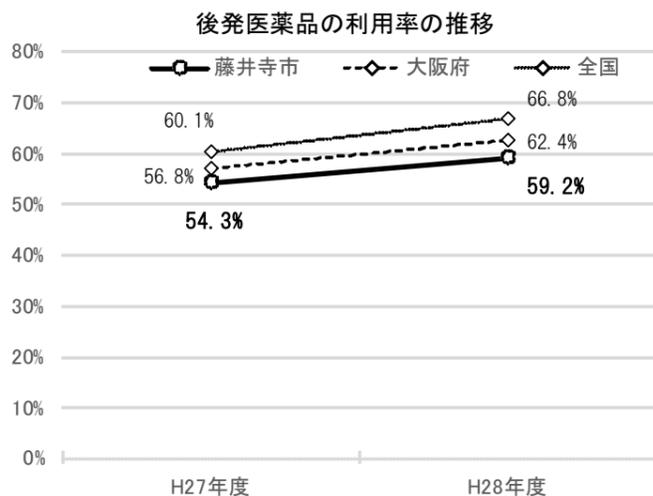


特定健康診査未受診者の中に糖尿病の重症化の恐れのある人がいる可能性があります。



特定保健指導の実施率は20%台で推移しており、国の目標値60%には達していません。

メタボリックシンドローム該当者割合は上昇傾向です。



後発医薬品の利用率は上昇しているものの、全国・大阪府を下回っています。

国では、平成32年度末までの間のなるべく早い時期に80%以上(H27.6月閣議決定)、具体的には平成32年9月までに80%を目標としています。(H29.6月閣議決定)



## 前計画の考察

1 特定健診未受診者対策・特定健診継続受診対策	特定健康診査の受診率は、平成28年度に43.4%と平成25年度より11.5%向上し、一定の事業効果が得られましたが、40歳～50歳代の若い年齢層は訪問や電話をしても不在で、直接受診勧奨ができないことが多く、若い年齢層に対する受診率向上対策が課題となっています。
2 特定保健指導未利用者対策	特定保健指導の利用率は、大阪府と比べて高いものの、平成26年度以降は低下しており、利用率向上のための工夫を重ねる必要があります。
3 高血圧の重症化予防対策	血圧高値の未治療者に訪問・電話・文書等で医療機関への受診勧奨を行い、約9割が医療機関を受診し、うち4割以上が服薬を開始しました。高血圧は放置すると重症化し、虚血性心疾患や脳血管障害等を引き起こすため、引き続き重症化予防対策を行っていく必要があります。
4 糖尿病重症化予防対策	血糖高値の未治療者に訪問・電話・文書等で医療機関への受診勧奨を行い、約8割が医療機関を受診し、うち3割以上が服薬を開始しました。糖尿病は放置すると神経障害や網膜症、腎不全等を引き起こすため、引き続き重症化予防対策を行っていく必要があります。
5 糖尿病性腎症重症化予防対策	糖尿病連携手帳を活用し、主治医と指導内容等を共有し実施しましたが、すべての利用者の主治医と連携ができたうえで、事業を実施しているとは言えない状況であり、今後はさらに主治医と連携を図りながら、対象者の取組を支援する実施体制の構築と強化が必要です。
6 その他の保健事業	健康増進事業、がん対策推進事業、介護予防事業、ふじいでら健康チャレンジ(インセンティブの提供)等のほか、健康づくりに関する事業について関係部署と情報共有を図りながら、健康づくりの取組の機会を増やすことができるよう、被保険者に情報を発信していくことが必要です。

## 目標(平成34年度) ※抜粋

優先	内容	アウトプット	アウトカム
1	特定健診	・5年累積受診勧奨実施者の割合:95%以上	・特定健診受診率:55%(H35年度:60%)
2	特定保健指導	・5年累積利用勧奨実施者の割合:95%以上	・特定保健指導実施率:55%(H35年度:60%)
3	虚血性疾患 脳卒中	・Ⅱ度高血圧(※)以上の未治療者の医療機関への受診勧奨5年累積実施率:95%以上 (外2項目)	・千人当たり虚血性疾患、脳卒中のレセプト件数(入院)の増加の抑制 (外5項目)
4	人工透析	・糖尿病の重症化予防事業の5年累積実施者数:150人以上	・糖尿病患者の人工透析の新規発生者数の抑制 (外1項目)
5	高血圧	・高血圧のリーフレットの5年累積配布枚数:25,000枚以上 (外4項目)	・千人当たりレセプト件数(外来)の増加の抑制
6	糖尿病	・糖尿病予防のリーフレット5年累積配布枚数:25,000枚以上 (外3項目)	・千人当たりレセプト件数(外来)の増加の抑制 (外1項目)
7	脂質異常症	・脂質異常症のリーフレットの5年累積配布枚数:1,000枚以上	・千人当たりレセプト件数(外来)の増加の抑制 (外1項目)
8	がん・喫煙	・がん検診受診啓発リーフレット5年累積配布枚数:50,000枚以上 (外1項目)	・がん検診受診率の上昇(外1項目)
9	要介護	・ロコモティブシンドローム等の予防に関するリーフレットの5年累積配布枚数:5,000枚以上 (外2項目)	・要介護度別要介護認定率の上昇の抑制
10	後発医薬品	・5年累積通知発送者数:12,000人以上	・後発医薬品利用率(数量ベース)の上昇

※日本高血圧学会の高血圧治療ガイドラインでは、成人の血圧値分類で収縮期血圧160-179かつ/または拡張期血圧100-109をⅡ度高血圧としています。

第二期藤井寺市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)概要版

発行 平成30年3月

藤井寺市福祉部保険年金課 〒583-8583 大阪府藤井寺市岡1丁目1番1号 ☎072-939-1353 Fax072-939-0399